石クリ通信

９月号

水戸千波湖花火大会

看護師　髙山　早苗

毎年八月第一金曜日の夜に行われる千波湖花火大会は、水戸黄門まつりよりもはるかに歴史が長く、第一回は百十年以上前の明治三十九年で、当初は「沼開き花火大会」と呼ばれていたと、母から聞いたことがあります。決して大きな花火大会ではありませんが、水面に映り込む花火の美しさや、種類の多さ、フィナーレの盛り上がりなどから、多くの花火ファンから支持されています。今年は五千発が上がり、水戸の夜空を彩りました。

お盆休みとご挨拶

事務　伊藤　真紀

今年のお盆休みは、家族の予定が合わず、遠出ができなかったので、久し振りに趣味の手芸に没頭していました。過去マスコット作りから始まり、パッチワーク、クラフト、ぬいぐるみの洋服などを作りましたが、今回は「つまみ細工」に初めてチャレンジしました。初の試みに多少イライラしながら作っていたせいか、気になる部分はありつつも、何とか完成させる事ができました。次回はもっと完成度を上げたいと思います。

今月で石川クリニックを退職することになりました。お世話になって半年、未熟なままでご迷惑をかけるばかりでしたが、患者様からの「ありがとう」の言葉が何よりの励みになりました。短い間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

お盆休み

事務　田所　弓佳

お盆休み初日に、ひたちなか海浜公園で行っていた夏の音楽野外フェスに参戦してきました。野外なので熱中症対策と日焼け対策をしっかりして行ったつもりでしたが、着ていた服の形にくっきりと日焼けしてしまい、この日一日で真っ黒に焼けてしまいました（汗）。今年は日焼けしないように気をつけていたのでショックでしたが、今回行ってみて今まで知らなかったアーティストを知ることができたので、日焼けを含めいい思い出になりました。

好きな交響曲

院長　石川　悟

最近はクラシック、特に室内楽が好みの中心ですが、高校や大学の頃は、もっぱらフルオーケストラの曲を聞いていました。ハイドン、モーツァルト、ベートーベン、ブラームス、チャイコフスキーなどの交響曲には名曲がずらりとあり、それぞれに素晴らしい作品です。もっとも最近は1時間近い曲をじっくり聴く機会が少なく、音楽鑑賞もいわゆる軽薄短小の傾向にあるようです。

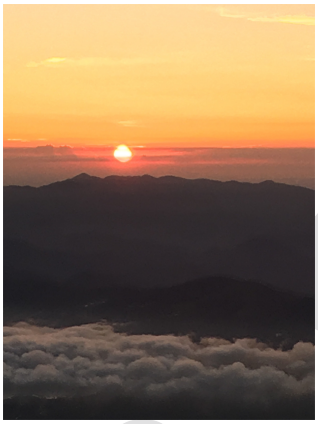
交響曲をあまり聞いたことがない人に、1曲勧めるとしたら、何がいいですかと訊かれたら、なかなか返事に困りますが、まずはベートーベンの交響曲第6番「田園」。各楽章ごとに標題が付けられて5つの楽章がそれぞれに楽しく、美しく飽きがきません。田園に着いた時のうきうきとした気分の第一楽章。小川のせせらぎと森の小鳥たちのさえずり（第二楽章）。田舎の人たちの楽しい集いと踊り（第三楽章）。突然訪れる雷鳴と嵐（第四楽章）。嵐が去り雲間から現れる太陽と虹、そして牧人たちが歌う神への感謝（第五楽章）。

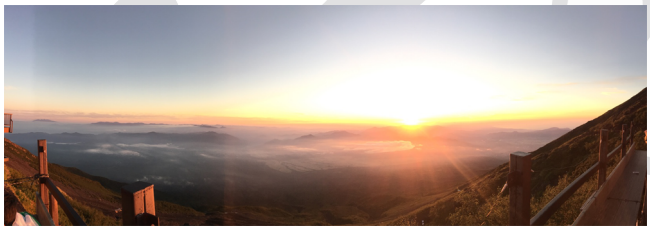
「運命」、「第九」、「英雄」もすばらしいですが、まず最初は「田園」がお勧めです。もうすこし興味がある人には、第7番の第2楽章。とても美しい緩徐楽章で、葬送行進曲と言う人と結婚式のようだと言う人がいます。聞いてみてください。

またまた世界遺産に登って来ました

看護師　澤田　彰子

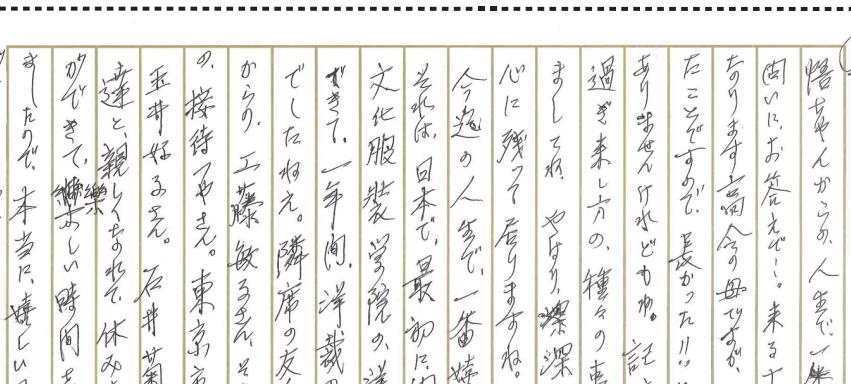
先日長男と、友達家族と富士山に登って来ました。友達家族は初めての富士登山だったので、五合目の山小屋で仮眠をとって、八合目での御来光を目指して出発しました。私達が登山する前日の山頂は気温十八度で風も強く荒れていたそうですが、その日は風も雲もなく絶好の登山日和でした。四年前は雨と雪で山頂まで行っても御来光出来なかったですが、今回は八合目からでもバッチリでした。





人生で一番嬉しかったこと

特別寄稿　石川　秋子



①

隣りの人からの、人生で、一番嬉しかったことは――。

聞いに、お答えで――。来る十月十日で、九十八歳になります高令の母ですが、過ぎ去ってしまいましたことですので、長かった！！と、言う実感は、余りありません。行水どころか。記憶を辿ってみますと、過ぎ去った方の、種々の事どもが思い出されますしてね、やはり、深い喜こびや、悲しみは、心に残って居りますね。

今迄の人生で、一番嬉しかったことは、そのことは、日本で、最初に開校された、東京の、文化服装学院の、洋裁学の校へ入学できて、一年間、洋裁の勉強ができたことでしたね。隣席の友人、北海道、釧路市からの、工藤敏子さん、その隣は、秋田県からの、接待婦さん。東京市の、奥野静江さん。五井好子さん。石井菊枝さん。山石崎園子さん。

達と、親しくなりて、休み時間には、ワイワイと、お話しができて、楽しい時間を過ごすことができました。

本当に、嬉しい日々を、送ることができましたなどですね。

我が家にも

看護助手　柴田　さち子

髙山家に続き、蘭の花が咲きました。花が大好きで、部屋に花がないと淋しくて、毎年お正月前に蘭の花を買います。昨年も咲き終わり、春先から芽が出てつぼみが膨らんで来たので、毎日楽しみに見ていたら、突然つぼみに異変が起きて枯れてしまいました。今年もまた同じようにつぼみが膨らんで来ましたが、また枯れてしまうのでは・・と思っていたところ、今年は何と元気に一輪、また一輪と咲いてくれ、感動しました。咲いてくれてありがとう！　しばらくの間楽しませてくれることでしょう。